

受験番号:37IPCN004

**【問1】**

**【書類名】** 特許請求の範囲

**【請求項1】**

送電網サーバーにユーザーの支払機関に基づき対応する初期画面を生成させる生成モジュールと、

前記送電網サーバーが前記初期画面ごとに対応する電気料金表示テンプレート、お財布表示テンプレートをそれぞれ作成し、電力データベースから対応する支払機関の電気料金情報を取り出して前記電気料金表示テンプレートに記入し、銀行データベースから前記ユーザーのデジタル通貨情報を取り出して前記お財布表示テンプレートに記入してからクライアント端末に送信してデータ交換し、前記初期画面に対しカスタマイズ処理を行う交換モジュールと、

前記ユーザーが前記クライアント端末を基に前記電気料金表示テンプレートから一つを選択し、対応する電気料金の前納情報を入力したと判断した場合は、前記送電網サーバーが前記電気料金前納情報を基に対応する支払情報を生成して前記銀行サーバーに送信する送信モジュールと、

を含むことを特徴とするデジタル通貨電気料金支払装置。

**【請求項2】**

前記初期画面に少なくとも一つの表示領域があり、前記の各表示領域が一つの前記費用支払機関に対応することを特徴とする請求項1に記載のデジタル通貨電気料金支払装置。

**【問2】**

**【背景技術】**

科学技術が絶えず発展するに従って、各種エネルギーに対する人々のニーズもますます高まっている。従来技術は三元系正極材をリチウム電池の正極材として使用しているが、従来技術の三元系正極材表面層ではリチウムイオン反応の活性度が高く、これによって生産、保存、輸送のプロセスにおいて、三元系正極材の表層または近表層の結晶格子にあるリチウムイオンは常に空気中の水または二酸化炭素と反応し、表層または近表層の結晶格子リチウムを消耗させて、反応による生成物が三元系正極材の表面を覆うことがある。被覆されると、表面のアルカリ化が絶えず進んでリチウム電池の正極のレート特性に影響し、従来技術が提供する三元系正極材の空気安定性を低下させてしまう。

このため、空気安定性がより優れたリチウム電池の正極材をどのように提供するかが本分野の技術者が解決しなければならない喫緊の課題になっている。

**【問3】**

**【発明を実施するための形態】**

図1及び図2に示す通り、本出願に基づく安全弁弁位置測定装置であって、ハウジング1、プッシュロッド2及び検出モジュールを含む。

ハウジング1の内部には収納空洞部を設置し、収納空洞部の一端には貫通孔を開設する。プッシュロッド2は貫通孔に穿通し、一部は収容空洞部内に収納される。プッシュロッド2の外端は貫通孔から延出して安全弁棒8の傾斜面に当接する。検出モジュールは磁性体3、磁極コイル4と弁位置信号回路5を含み、磁性体3と磁極コイル4は収納空洞部に収納され、磁性体3とプッシュロッド2は連結され、磁極コイル4は磁性体3の周囲を囲繞している。弁棒8が垂直方向に移動する場合、その傾斜面はプッシュロッド2を水平方向に作動させて磁性体3を磁極コイル4の中心軸に沿って移動させることで、磁極コイル4のインダクタンス値を変化させることができる。弁位置信号回路5は磁極コイル4と電気接続して、磁極コイル4のインダクタンス値の変化に応じて弁位置変化信号を出力する。

**【訳注】**原文「穿設」は「孔を設けること」の意味ですが、本問では貫通孔の中に挿入していると考え、「穿通」と訳出しました。